

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E112F013		政治学概論 (Introduction on Politics)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	3	教育学部 平成31年度以前入学生用			氏名 鄭 敬娥 E-mail 内線											
授業の概要	1 日本の政治の基本的な仕組みを理解する。 2 諸外国との比較のなかで日本の特徴を浮き彫りにする。 3 日本と国際社会との関係のあり方を考える。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 政治の基本的なルールやその運用を理解できる。																	
目標2 日本の政治の特徴や問題点を浮き彫りにする。																	
目標3 政治の歴史およびその背景を理解できる。																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 政治学とは																	
2 鉄の三角同盟																	
3 多元的民主主義																	
4 官と民の関係																	
5 大企業と政治																	
6 選挙と政治																	
7 地方分権																	
8 マスメディアと政治																	
9 国会																	
10 内閣と総理大臣																	
11 官僚																	
12 戦後日本の政治 : 敗戦と冷戦のはじまり																	
13 戦後日本の政治 : 吉田ドクトリンと戦後外交																	
14 戦後日本の政治 : 憲法と平和主義																	
15 総括																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	日本の政治に関して自分から課題を見つけて、その歴史と背景などを調べて、プレゼンテーションを行う。					工夫	その他の									
	B:意見の表現・交換																
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備	次回に取り上げるテーマについて、新聞や雑誌などから過去に争点になった出来事を調べて、自分なりに仮説を用意する(例えば、日本の選挙制度。選挙制度改革の背景と問題点など)(15H)。															
	事後	授業で扱った内容を振り返り、自分の仮説と照らし合わせて、問題点や足りなかった観点などを明らかにする。これを月一回、レポートとして提出する。(10H)															
教科書	北山俊哉他編『はじめて出会う政治学：構造改革の向うに』(有斐閣アルマ、2009年)																
参考書	その都度提示。																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	授業の貢献度	20%															
	プレゼンテーション	30%															
	期末試験	50%															
注意事項																	
備考																	
リンク																	
	URL																